

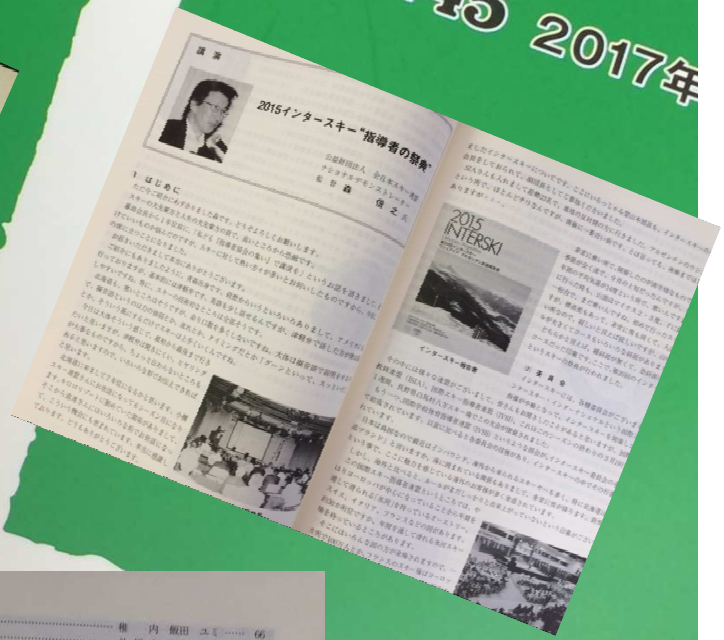
シュプール No. 45 が届く！！

昨日、所属団体事務局から北海道スキー指導者協会の機関誌「シュプール No. 45」と2018年度（公財法人）北海道スキー連盟教育本部メモ（別名：青本）が自宅に届きました。いよいよシーズン・インの準備ですね～・・・

シーズンには、何か早く積雪になると感じられますが・・・さてさて、滑走50日以上を目指して、痛いたシュプールと青本を拝見しながら気分を高めてまいります。

シュプール No.45 2017年

シー・ハイル！！



「シュプール」第45号

●巻頭言
○私のインタースキー.....会長 藤島 勲

●主 張
○健康寿命はスキーで延ばそう.....副会長 坂口 一弘..... 6

●特 集
○タイトルも一新！[2017 春スキーの集い] スキルアップ研修会開催.....広報部..... 7
○障がい児のスキー支援.....旭川 速水 潔..... 17

●地区紹介
○北見地区スキー支援の現状.....北見地区 早川志津雄..... 19
○グッド・インストラクター表彰式と祝賀会を開催.....旭川 北澤 邦夫..... 21
○北海道自衛隊スキー連盟の活動状況（連盟組織）.....道目南隊 吉間 稔治..... 23
○北見スキー学校の現状.....北見市 松木 久人..... 25

●随 想
○映画の中の昭和史.....室 蘭 高木 昌敏..... 26
○たかがでも、されどでもない、やっぱりスキー.....旭川 丸 昇..... 31
○自然を眺めながら.....
スキー指導に生甲斐を感じて.....札幌手稲 銀治沢 敏..... 33
○閉 話 (四).....室 蘭 神島 馨..... 35
○我がスキー人生を顧みる.....札幌 南 時川 和夫..... 37
○古きからのスキー人生.....札幌厚別 西田 孝雄..... 40
○スキー人生を振り返って.....美 瑛 真保 幸雄..... 43
○2017「ニセコ春スキーの集い」.....
スキルアップ研修会に参加して.....札幌 南 矢萩美和子..... 45
○春スキーの集いに参加して.....かもい岳 山口 則雄..... 47
○春スキーの集い研修会に参加して.....増 毛 玉野 昭二..... 49
○スキルアップ研修会に参加して.....札幌東 小川 明夫..... 51

☆☆☆平成29年度 指導員・準指導員・認定指導員☆☆☆
検定合格者（北海道関係）..... 52

●随 想 (特定)
☆安全で楽しいスキーを伝えたい！.....石 狩 鈴木 伸一..... 58
☆認定・準指 指導員への道程.....旭川 渡辺 秋男..... 59
☆九州から遠征目指して14年.....石 狩 松尾 博..... 61
☆スキー大好きー！.....稚 内 清水 誠也..... 62
☆子供に伝えたいこと.....札幌厚別 下澤 剛..... 64

☆恐怖を越えて見えた景色.....藤 内 飯田 エミ..... 66
☆必要だった準指資格の取得.....札幌東 原田 肇斗..... 67
☆二本の板から広がる世界.....旭川 川 金澤 貴..... 68
☆第54回SAJ技術大会と準指検定会を終えて.....小樽 鈴木 大智..... 70
☆準指導員受検を終えて.....室 蘭 喜多 悠..... 71
☆認定指導員受検を終えて.....室 蘭 喜多 悠..... 71
☆後期高齢を迎えた認定スキー指導員と生涯スキーヤー.....札幌西 長谷 室 蘭 大郎

★スキーまんが「シュ先生とブル君」.....室 蘭 大郎

第30回北海道スキー指導者協会の集い
2017 苫小牧大会

□開会式 司会進行.....理事長 三浦
□講 演 (記録・編集・事業部長 斉藤 晋、副部長 室谷 和恵、理事長 三浦 光明、広
SAJ)ナショナルデモストレー
講 師 森

□懇親会及び親睦ゴルフ大会、親睦パークゴルフ大会 (中田 章、清水 光彦)

事務局 だより

◆平成29・30年度 北海道スキー指導者協会
一般経過報告及び各種会議報告.....理事長 三浦
◆平成29年度 助成金事業報告.....副総務部長 黒宮
◆平成29・30年度会計報告.....副総務部長 黒宮
◆平成30年度代議員会報告.....副総務部長 黒宮
◆平成30年度加盟団体会長会議報告.....副総務部長 黒宮
◆平成30年度日本スキー指導者協会総会報告.....副総務部長 黒宮
○平成30年度指導者協会役員名簿.....副総務部長 黒宮
○平成30年度指導者協会加盟団体一覧表.....副総務部長 黒宮
○北海道スキー指導者協会規約.....副総務部長 黒宮
○【集い】開催地ロケーション表.....副総務部長 黒宮
○会員の卦.....副総務部長 黒宮
○第44号の訂正とお詫び.....副総務部長 黒宮
○編集後記.....副総務部長 黒宮
○広告のページ.....副総務部長 黒宮

「2017 春スキーの集い」 スキルアップ研修会開催

平成26年、9年ぶりに復活した「ベテラン」と「ベテラン指導者研修会」は、3年目に「2016 ニセコ春スキーの集い」ベテラン指導者研修会と名称を変更して開催し、前年を上回る26名の参加者となり、名称変更の効果が見られました。参加者からのアンケートや運営協力団体等での意見交換の結果、今年からはベテランという名称を使用せず、年齢層も解除し、申込日も大幅に緩和しました。

4年目を迎えた今年は、道連の協力団体として当協会が運営責任団体となり、タイトルも「2017 春スキーの集い」スキルアップ研修会と改称、参加料金が2万7千円とリーズナブルな価格となりました。この大幅改称が功を奏し、大好評の懇親会が人呼んだのか、参加者数は昨年と同数になりました。

今年度は平成29年4月7日（金）～9日（日）まで、ニセコグランヒルスタブで開催。今回の研修会もリベーターの方が半数を超え、少しずつではあるが、底辺が広がってきたという手ごたえが感じられる研修会となりました。

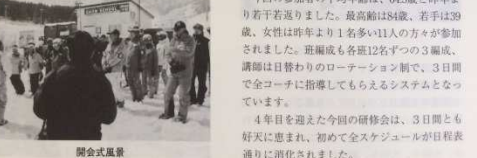
毎回そのシーズンの女子のトップデモが講師に当たること、昔の研修会のように参加者同士が十分なコミュニケーションと、飲みながらケーションを取れる雰囲気が好評の要因であることは間違いのないところか、4回目にして、何と継続開催していきそうなる雰囲気を感じることができました。

大塚デモ（右から3人目）を囲んで旭川の先生

松本前道連教育本部長と、当協会の専務員からの熱い思いが結実した結果であり、第1回から携わって来た一人として、素直に喜びたい気持ちである。

今回の参加者の平均年齢は、64.5歳と昨年より若干若返りました。最高齢は84歳、若手は29歳、女性は昨年より1名多い11人の方が参加されました。班編成も各班12名ずつの3編成、講師は日替わりのローテーション制で、3日間で全コースに指導してもらえシステムとなっています。

4年目を迎えた今回の研修会は、3日間も好天に恵まれ、初めて全スケジュールが日程通りに消化されました。



私のインタースキー

会長 藤島 勝雄



今年7月の「第30回北海道スキー指導者協会の集い」の講演は、SAJナショナルデモ監督森信之氏の「インタースキー“指導者の祭典”他」であった。各国のナショナルチームのフォーメーションビデオや、森講師のワークショップ等の話に魅了されて、数々の貴重な体験をし多くの事を学んだ「私のインタースキー」を書いてみたい。

初めてインタースキーなるものに出会ったのは、「1979年第11回蔵王大会」であった。日本は、ナショナルデモチームが「ブルークから高速ターンへの展開」の実技発表。他に「少年アルペンのデモンストレーション」「ポールを利用した指導法」「ハンディキャップスキー

は無駄になってしまった。私にとって「幻のインタースキー」となった。

初めての参加は、4年後の「1991年第14回オーストリア・サンアントン大会」であった。この1991年は、森講師の講演にもあった通り、日本のスキー人口がピークの年であり、また、サンアントンが「スキーの聖地」とも呼ばれ、ブンデススポーツハイム（サンクリフト）に近いこともあってか、全国から「333人」もの指導員が公式視察団として、この地に押し寄せた（私の地元・苫小牧からも6人も参加した）。私がインタースキー参加の興味・関心は「どんなテーマを掲げての大会か?」「各国の、にスキー先進国の滑りは?」であった。



この大会は、オーストリアのサンアントンで開催された。各国の指導員が集まり、技術交流や研修が行われた。写真には、研修の様子や参加者の姿が写っている。



サンアントン大会で「日の丸」をフォーメーションで表現する日本チーム

「日の丸」をフォーメーションで表現する日本チーム。この大会のテーマは、インタースキー原点復帰の「スノースポーツの楽しさをどう伝えるか」で、日本は「スノースポーツの多様化に向けた指導員と教師の在り方」を発表した。

技術的にも、スキー先進国の併せてくれたクラモンタナ大会。インタースキーは、ローテーション・クルッケンハウザー教授が「ヤーにどう教えたらいいかを話要」を提唱し、1951年第1回大会でツールズで開催された。



2017「ニセコ春スキーの集い」スキルアップ研修会に参加して

札幌南 矢萩美和子

4月7日〜9日まで、今シーズンの締めくくりにニセコグランビラで開催された「ニセコ春スキーの集い、スキルアップ研修会」に参加しました。昨季まで「ベテラン指導者研修会」という名前でもおなじみでしたが、タイトルも変わりました。親しみやすさを感じました。研修には、講師の方々も参加されました。研修では、講師の方々も参加されました。研修では、講師の方々も参加されました。

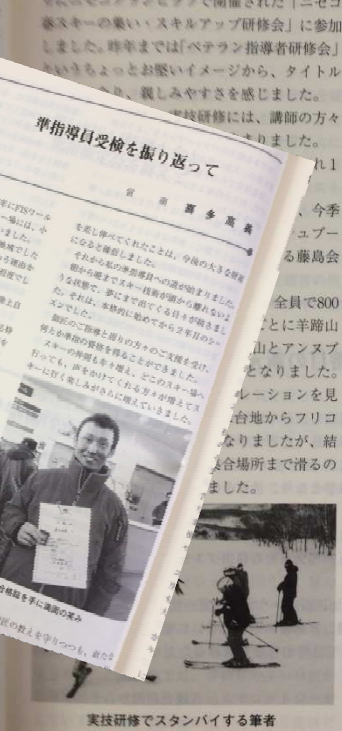
デモの滑りを見せて頂き、悪雪の中でもパランスを崩すことなく、爽爽と滑り降りてくる姿に「すごいな〜、上手いな〜」の一言。小回り、大回り、経済を見て頂き、技術戦のDVDを見ているようで、憧れの滑りを直接見るのが本当に感動しました。16時から理論研修は、浜辺主任講師による楽しく、解りやすい、ユニークな講習は、一般の研修会とは一味違うものでした。3人（大川・大場・小森SAJデモ）のデモの方達の感覚的なお話や、技術的な注意点などは大変参考になりました。また、浜辺講師のユニークな質問やデモに対する無茶振りに会場は爆笑に包まれ、大いに盛り上がりました。初日の夕食も終わりにする頃、総務主任から「インスパクション」と称して懇親会の前夜祭が自由参加で開催されました。楽しかった〜2日目午前・午後と実技研修が実施されましたが、私はあの悪雪の中では谷足・内足どこへやら・・・疲れてしまいました。私以外の先生方は、悪雪の中も力強く、パワフルな素晴らしい滑りをしておりました。昼食はグレンデのレストランで摂りましたが、しばしの休憩でやれやれ・・・15時30分から浜辺講師の楽しく、解りやすい理論研修が終わり、メインイベントの夕食・懇親会の時間となりました。各地区連の先生方との交流は、なかなかできる機会が少ないので、このような懇親会の席でないとお会い出来ない先生方とお酒やお酒は、私にとって貴重なひと時となりました。最終日も朝から快晴！羊蹄山を眼前に見ながら



たかかでも、それでもない、やっぱりスキー。旭川丸 昇

平成28年4月、第二の職場を退職し、生まれ故郷の旭川市で、旭川スキー連盟の一員にさせて頂きました。省みると学生時代は伊の沢、嵐山、サンパレー、比布はくわい（当時）でスキーに熱中しましたが、その後、土別地方スキー連盟で準指導員の資格を取得し、勤務先の移動もあって、旭川スキー連盟で実質活動したのは、学生時代と平成5年度に限る数年でした。二十数年ぶりの旭川で、自宅からほど近いサンパレーレートのシーズン会員になりました。不肖自分は、道連役員を仰せつかりながらも三年間、年間滑走日数は20日前後のスキーヤーでしたが、前季は79日、目標の50日を上回りました。これも旭川シニアスキークラブ（以下「ASSC」）に快く入会させていただいたからこそ。加藤英二代表他先輩諸氏に感謝いたします。元来自分は、学生時代から並みいる先輩・同輩・後輩の名スキーヤーの中において、決して能力は高くないことを自認しており、加えて長い間の「さぼり」で、技能の一層の低下は覚悟でした。若干臆する気持ちも感じつつ、久しぶりの旭川でのワンシーズン。「目と耳は確か」と高をくくるものの、最新の技術は勿論、古典的な基礎・基本の技術を含め、力量不足を再認識。今更ながらスキーの難しさと、それ故の楽しさを実感しています。旭川は歴史と伝統が感じられる街で、スキーの文化も根付いています。

85%以上が集うサンタスキー場の一大集いであります。60歳の自分にとって二才に届く会員がカービングで獨り当に上手な高齢者ばかりで、これの自分は舌を巻くばかり。名寄ピヤリスキー場（17）ラロム大会等の行事には参加者で活気にあふれています。高齢社会の健康スポーツも、ASSCと共に今後ますます盛んになっていくと思います。旭川市は、スキーの歴史が長い街です。スキーの文化も根付いています。旭川市は、スキーの歴史が長い街です。スキーの文化も根付いています。



実技研修でスタンバイする筆者